

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月30日

上場会社名 株式会社ファインシスター 上場取引所 東・名
 コード番号 5994 URL <http://www.fine-sinter.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 努 (TEL) 0568-88-4355
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月7日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	19,590	3.8	602	10.0	529	7.5	165	△21.6
30年3月期第2四半期	18,877	1.9	548	△43.8	492	△34.7	210	△38.7

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 457百万円(△42.8%) 30年3月期第2四半期 799百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	37.53	—
30年3月期第2四半期	47.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第2四半期	45,832	18,739	36.1	3,762.15
30年3月期	46,082	18,578	35.5	3,718.93

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 16,558百万円 30年3月期 16,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	35.00	—	30.00	65.00
31年3月期	—	40.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	2.6	2,500	39.2	2,150	34.9	1,200	159.5	272.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	4,420,000株	30年3月期	4,420,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	18,782株	30年3月期	18,550株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	4,401,324株	30年3月期2Q	4,401,506株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境及び個人消費の改善等による景気拡大が継続しました。一方、中国では景気は減速傾向で推移したものの、アジア全体では好調な輸出を背景に拡大基調にあります。また、わが国経済も緩やかな景気回復が続いております。

当社製品の主要市場である自動車産業におきましては、前年同期に対し、アジアで販売台数が増加した一方、国内は横ばい、米国は主に乗用車で減少しました。

こうした状況の中、当社グループは米国第2工場における新規自動変速機用部品の立上げを完了し、さらに前年度に立上げた新規品増産の準備を行っております。また、国内では新四輪駆動用機能部品・ハイブリッド車用インバーター部品等の量産開始に向けた準備を加速しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は19,590百万円と前年同四半期に比べ712百万円(3.8%)の増収、営業利益は602百万円と前年同四半期と比べ54百万円(10.0%)の増益、経常利益は529百万円と前年同四半期と比べ36百万円(7.5%)の増益となりました。一方、前期末に米国会計基準により米国会社の繰延税金資産を取崩した影響や、非支配株主の割合が高い子会社利益が増加したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は165百万円と前年同四半期と比べ45百万円(21.6%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①粉末冶金製品事業

自動車用部品につきましては、米国における前年度立上げの新規品等により3.7%の売上増となりました。また、鉄道車両用部品につきましては、前年度に引続き、2016年度新規開発の新幹線用ブレーキライニングの搭載車両増加により17.1%の売上増となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は18,659百万円と前年同四半期と比べ762百万円(4.3%)の増収となり、セグメント利益につきましては、1,375百万円と前年同四半期と比べ111百万円(8.8%)の増益となりました。

②油圧機器製品事業

手術台用及び画像診断機器用製品は堅調に推移したものの、デンタルチェア用製品は前年度受注増の反動で北米を中心に売上減となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は925百万円と前年同四半期と比べ49百万円(5.1%)の減収となり、セグメント利益につきましては、249百万円と前年同四半期と比べ32百万円(11.7%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比1,021百万円減)等により、17,210百万円(前連結会計年度末比977百万円減)となりました。固定資産につきましては、有形固定資産の増加(前連結会計年度末比715百万円増)等により、28,622百万円(前連結会計年度末比727百万円増)となりました。

以上により、資産合計は45,832百万円(前連結会計年度末比249百万円減)となりました。

流動負債につきましては、1年内返済予定の長期借入金の減少(前連結会計年度末比603百万円減)等により、17,806百万円(前連結会計年度末比153百万円減)となりました。固定負債につきましては長期借入金の減少(前連結会計年度末比153百万円減)、リース債務の減少(前連結会計年度末比61百万円減)等により、9,286百万円(前連結会計年度末比258百万円減)となりました。

この結果、負債合計は27,092百万円(前連結会計年度末比411百万円減)となりました。

純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が33百万円増加、その他の包括利益累計額が158百万円増加したことにより、非支配株主持分を除くと16,558百万円(自己資本比率36.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月26日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,518,440	3,496,474
受取手形及び売掛金	7,927,970	7,577,420
電子記録債権	1,221,350	1,241,464
商品及び製品	732,893	738,342
仕掛品	1,428,606	1,490,691
原材料及び貯蔵品	2,041,790	2,355,508
その他	316,658	310,525
流動資産合計	18,187,709	17,210,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,301,259	13,480,340
減価償却累計額	△7,830,143	△8,029,978
建物及び構築物(純額)	5,471,116	5,450,362
機械装置及び運搬具	43,590,744	46,315,815
減価償却累計額	△32,914,718	△33,952,349
機械装置及び運搬具(純額)	10,676,026	12,363,466
工具、器具及び備品	5,086,017	5,500,678
減価償却累計額	△4,266,942	△4,568,487
工具、器具及び備品(純額)	819,075	932,190
土地	3,549,051	3,564,454
リース資産	558,304	457,523
減価償却累計額	△403,247	△329,708
リース資産(純額)	155,056	127,815
建設仮勘定	3,167,207	2,114,438
有形固定資産合計	23,837,533	24,552,728
無形固定資産		
電話加入権	11,407	11,407
リース資産	113,834	93,668
その他	143,409	151,581
無形固定資産合計	268,651	256,657
投資その他の資産		
投資有価証券	2,525,448	2,598,112
長期貸付金	11,726	8,245
繰延税金資産	1,172,730	1,113,661
その他	88,922	103,087
貸倒引当金	△10,242	△10,242
投資その他の資産合計	3,788,585	3,812,864
固定資産合計	27,894,770	28,622,249
資産合計	46,082,480	45,832,676

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,119,810	3,282,225
電子記録債務	2,778,120	2,767,190
短期借入金	5,908,608	6,434,260
1年内返済予定の長期借入金	2,237,399	1,634,056
リース債務	115,983	90,885
未払法人税等	312,794	185,080
未払消費税等	151,158	99,749
未払費用	635,809	729,581
賞与引当金	907,096	974,988
役員賞与引当金	42,665	21,424
設備関係支払手形	155,772	120,095
営業外電子記録債務	409,290	733,575
その他	1,184,583	732,972
流動負債合計	17,959,092	17,806,087
固定負債		
長期借入金	4,775,064	4,621,204
リース債務	218,852	156,901
役員退職慰労引当金	87,867	86,935
退職給付に係る負債	4,073,836	4,071,402
資産除去債務	329,798	332,664
その他	59,583	17,725
固定負債合計	9,545,003	9,286,833
負債合計	27,504,096	27,092,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,203,000	2,203,000
資本剰余金	1,722,945	1,721,609
利益剰余金	11,305,566	11,338,686
自己株式	△29,680	△30,246
株主資本合計	15,201,832	15,233,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,171,375	1,213,039
為替換算調整勘定	280,646	346,899
退職給付に係る調整累計額	△285,149	△234,930
その他の包括利益累計額合計	1,166,872	1,325,008
非支配株主持分	2,209,679	2,181,698
純資産合計	18,578,383	18,739,756
負債純資産合計	46,082,480	45,832,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	18,877,849	19,590,845
売上原価	16,279,644	16,893,100
売上総利益	2,598,205	2,697,745
販売費及び一般管理費	2,050,093	2,094,792
営業利益	548,111	602,952
営業外収益		
受取利息	3,869	4,977
受取配当金	35,004	38,053
為替差益	16,143	—
作業くず売却収入	13,585	18,769
デリバティブ評価益	1,723	27,532
雑収入	20,082	21,434
営業外収益合計	90,409	110,768
営業外費用		
支払利息	110,134	136,995
固定資産除却損	21,555	25,727
為替差損	—	7,409
雑支出	14,061	14,007
営業外費用合計	145,751	184,138
経常利益	492,769	529,581
税金等調整前四半期純利益	492,769	529,581
法人税等	166,099	203,612
四半期純利益	326,670	325,969
非支配株主に帰属する四半期純利益	116,013	160,806
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,656	165,162

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	326,670	325,969
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146,446	41,663
為替換算調整勘定	249,840	40,061
退職給付に係る調整額	76,864	50,198
その他の包括利益合計	473,152	131,923
四半期包括利益	799,822	457,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,390	325,659
非支配株主に係る四半期包括利益	195,432	132,233

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1. 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,896,914	975,859	18,872,774	5,075	18,877,849	—	18,877,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,896,914	975,859	18,872,774	5,075	18,877,849	—	18,877,849
セグメント利益	1,263,887	282,771	1,546,659	1,956	1,548,615	△1,000,503	548,111

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。
 2 セグメント利益の調整額△1,000,503千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	総合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	粉末冶金 製品事業	油圧機器 製品事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,659,269	925,980	19,585,250	5,595	19,590,845	—	19,590,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	18,659,269	925,980	19,585,250	5,595	19,590,845	—	19,590,845
セグメント利益	1,375,293	249,821	1,625,115	2,844	1,627,959	△1,025,007	602,952

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、発電および売電に関する事業です。
 2 セグメント利益の調整額△1,025,007千円は、全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 3 セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。